

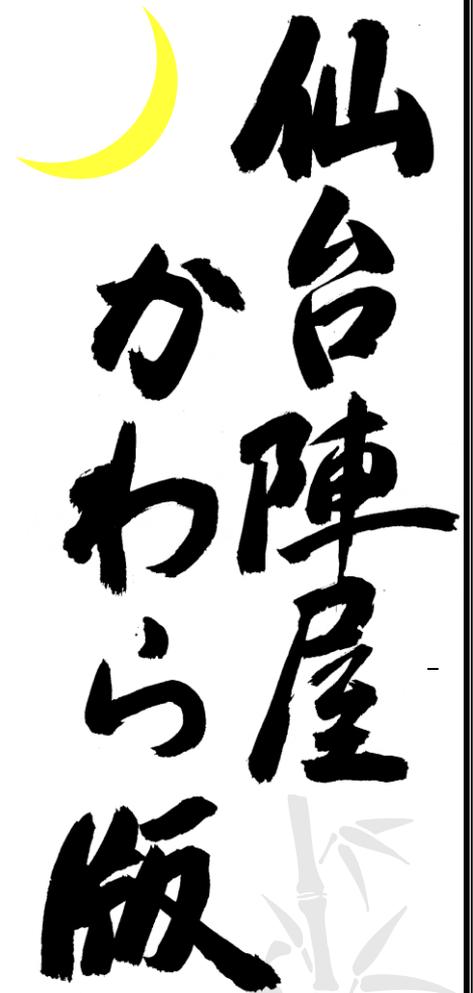
道内初公開資料をご覧下さい

「しらおいの医師 高橋房次」展 開催

白老が誇る偉人、高橋房次医師の展示会が7月18日(土)より、いよいよ開幕します。これまで道内では公開されていなかった遺品や寄稿文、関係品およそ30点を含めた多くの貴重な資料を紹介すべく、準備に勤しんでいます。また今回は、小山市が作成した「市制60周年記念 小山の歴史」や市内の写真を展示することで、医師が生まれ育った地域についても触れていただく予定です。

この展示会のために借りてくる資料の中に、医師がどのような思いで地域医療に携わっていたか、非常によくわかる直筆の原稿がありました。医師は北海道庁立白老病院の院長であったとき、アイヌの人々への医療施策に対して「其の基底は所謂貧民救療の域を脱せざるもの(中略)貧民救療は疾病救治の線を超えて防貧施設の一種とも認むべきもの」と述べています。1933年発行の、北海道社会事業協会の事業誌『北海道社会事業19号』に寄稿された「特殊救療特に土人救療に就きて」の一文です。「四海同胞和衷協力(そがい)の風を阻害」しないよう、「国家の連帯責務なりとの考へにより当然為すべき」と続けるところに、房次医師の社会観や職業意識が伺われます。

地域医療の現場から白老を見つめた医師の価値観を示す文章、医師が通った学び舎の記録など、この機会にしか見られない資料が並びます。是非お立ち寄りください。



第118号

(平成27年7月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666



< 乙女市街地の段丘下に広がる水田(上) >

< 房次が額を奉納した乙女八幡宮(下) >



夏の涼は陣屋のホタルで

今年も陣屋資料館ではホタル観察会を実施します。一昨年、昨年と多くのホタルの飛ぶ姿を観察できました。今年には生息域の小川の水量も申し分ないので、資料館としても期待を高めています。夕涼みをかねて、足を伸ばしてみたいかがでしょう。

日程 27年7月31日(金)

8月1日(土)

時間 19時30分～20時30分

集合 陣屋資料館

注意 ①蚊も多いので袖丈の長い服装をお勧めします。②長靴ですと、より安心です。③時間遅れても、一度資料館の窓口へお越しください。

若武者たちが現代に!

5月5日(火)に陣屋の恒例行事である、子供の日企画を実施しました。天気予報では雨とされていましたが、少し風が強いながらも快晴のなか、企画をスタートすることができ、町内外合わせて50人以上の方が参加して下さいました。子どもたちは珍しい五月人形や鎧兜に、驚きや興奮の声をあげていました。他の企画も大盛況で、やはり今年も一番人気だったのはよるい・かぶと試着体験。戦国時代からタイムスリップして来たかのように雄々しい若武者や、凛とした女武者が何人も登場しました。武士たち顔負けの気迫で熊と戦う若武者も現れるなど、楽しいひと時を体験してもらえたようです。

大盛況のうちに幕を閉じた子供の日企画でしたが、毎年手伝いに来てくださる友の会の皆さまの協力があればこそ、多くの催しが出来るものと実感しています。来年も楽しい企画をたくさん用意し、多くの方の参加をお待ちしております。



＜熊の前でポーズを決める若武者＞



＜読み聞かせに聞き入る参加者＞



＜煎餅に舌つづみを打つ参加者＞

学芸員の勉強会 日胆総会

日高と胆振の学芸員が集う研修会が5月14日(木)に新ひだか町の新ひだか博物館を会場に開催されました。この研修会は毎年行われているもので、日高・胆振管内の学芸員が一堂に会し、互いに知識や技術の向上・共有情報交換を行うことを目的とした研修会です。

講演会では博物館を作るまでのお話や、新たに展示を構成するうえでどの様なコンセプトを持ったかなどが聞け、大変実りのある研修会となりました。

学芸員になるために

5月29日(金)に札幌大学の学生16名が、博物館見学実習という学芸員課程の一環として、陣屋資料館の見学に訪れました。平野学芸員の解説に耳を傾ける表情は真剣そのもので、館内にはいつにもない緊張感が漂っていました。また、工藤臨時職員は学芸員として勤めての感想や苦労したことなどを、現場にいてこそ感じられた思いを学生達に伝えました。

説明後の質疑では史跡の発掘調査に関することや伊達家の家紋についての質問が寄せられました。

いつか皆さんと、学芸員として再会できるのを楽しみにしています。



＜展示解説を聞く学生達＞

「仙台陣屋かわら版118号(平成27年7月号)」

発行日:平成27年6月24日(水)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・工藤

<http://www.town.shiraai.hokkaido.jp/bunkai/linya/>

Mail: linya@town.shiraai.jp ☎015-2666